

- ・教室をめぐる動き (1)
- ・1998年度地理学教室行事予定 (1)
- ・教員の研究活動 (2)
- ・1998年度教員在室時間割について (3)
- ・製本保存ふん卒業論文主題(1997年度)一覧 (5)
- ・地理情報処理室および図書資料室の利用について (5)

教室をめぐる動き

この4月に次の人事発令がありました。

<新任:専任>

磯谷 達宏 講師

<昇格>

岡島 建 講師 助教授へ

今年度の教室主任・学年担任は以下の通りです。

教室主任 野口 泰生 教授

1年 磯谷 達宏 講師

2年 岡島 建 助教授

3年 長谷川 均 助教授

4年 内田 順文 助教授

1998年度地理学教室行事予定

5月29・30日 1年地理実習

5月23日 国士館地理学会

10月2・3日 2年地理実習

10月28-31日 3年地理実習

12月10日 卒論提出締め切り

12月12日 国士館地理学会

2月10・12・13日 卒論口頭試験

教員の研究活動

長島 弘道 教授

＜研究活動＞

本年度はなし

瀬戸 玲子 教授

＜研究活動＞

論文：

沼津市西部、低地の都市化—地形図と空中写真判読による比較を中心に—。お茶の水地理38, 52-59, 1997.

学会発表：

台地の灌漑用水路と1965年～1990年の農業土地利用の変化—福島県安積疎水地域ほか—。

日本国際地図学会平成9年度定期大会, 1997年7月23日, 法政大学多摩キャンパス。

発表要旨：

台地の灌漑用水路と1965年～1990年の農業土地利用の変化—福島県安積疎水地域ほか—。地図35-4, p. 49, 1997.

委員会活動：

1992年4月～ 日本地理学会、国立地図学博物館設立推進委員会委員

1994年9月～ 日本学術会議、地図学研究連絡委員会委員

野口 泰生 教授

＜研究活動＞

論文：

気温極端年における夏日・真夏日・熱帯夜・冬日・真冬日の分布について：関東甲信越地方とその周辺地域を中心に。国土館大学地理学報告6, 1-25, 1997.

長谷川 均 助教授

＜研究活動＞

学会発表：

リモートセンシングによるサンゴ礁地域のモニタリング 石垣島白保サンゴ礁と轟川流域を例に。

日本サンゴ礁学会、1997年11月、琉球大学

サンゴ礁環境衛星地図の作成（1）。日本地理学会、1998年4月、国土館大学

執筆活動

『サンゴ礁環境衛星地図の作成』文部省科学研究費、平成9, 10年度報告書、1998年3月、全50頁。

書評など

「沖縄 海は泣いている 赤土汚染とサンゴの海」吉嶺 全二著、高文研発行、SAFE vol. 11, 16p.

「地図通になる本」立正大学マップの会著、オーエス出版社発行、地理43-2, 110p.

「パソコンで楽しむ山と地図」山と地図のフォーラム編著、地理43-3, 120p.

「新入生におすすめの3冊」 地理43-4, 96-97p.

その他

1997年夏おこなわれた世界的イベント、「リーフチェック97」（地理学専攻の学生もボランティアで参加した）の石垣島調査が、NHK テレビ、朝日新聞などで報道された。

内田 順文 助教授

＜研究活動＞

その他：

文学と地理。高橋伸夫ほか編『高校生の地理A・B 教授資料』二宮書店, 1998.

岡島 建 助教授

＜研究活動＞

論文：

近代日本の内陸水運に関する研究の動向と課題、国土館大学人文学会紀要30, 1998.

口頭発表：

近代都市における河川水運の役割、国土館地理学会、国土館大学, 1997. 5. 31.

大正・昭和期における都市の水運利用について—中川運河（名古屋）、富岩運河（富山）、川崎運河などを事例として—、富山地学会、富山市科学文化センター, 1997. 6. 21.

学会活動：

歴史地理学会・編集委員

交通史研究会・常任委員

磯谷 達宏 講師

＜研究活動＞

論文：

都市公園における生態学的な景観管理の方法について、生態環境研究第4巻1号, 1997.

口頭発表：

流域を基本単位とした中規模植生構造の把握法—伊豆半島の二次林を事例として—.

第44回日本生態学会大会, 1997年4月.

動態単位を用いた函南原生林のブナ・アカガシ林の植生構造。（斉藤均・藤原一繪と共同発表）

第45回日本生態学会大会, 1998年3月

1998年度 教員在室時間割について

※第3または第2金曜日は教室会議(12:00-)・教授会(13:00-)があり全員が世田谷に出校しています。

※長谷川より：原則として、月・土以外は世田谷研究室にありますが、相談など時間のかかる面接等に関しては、事前にアポをとってからにしてください。

※下記時間以外の面会、相談などはAppointmentによります。相談、質問などは教員の出勤中に済ませて下さい。教員の自宅、特に非常勤の先生宅への電話は極力ひかえて下さい。

教員の研究室と電話番号

長島：1025研究室(4F) 03-5481-5278

瀬戸：1002研究室(2F) 03-5481-3245

野口：1004研究室(2F) 03-5481-3246

長谷川：1003研究室(2F) 03-5481-5247 E-mail:hasegawa@kokushikan.ac.jp

内田：1025研究室(4F) 03-5481-5291 E-mail:uchida@kokushikan.ac.jp

岡島：〔世田谷〕10号館2F教員コミュニティルーム

〔鶴川〕12号館3F307研究室0427-36-8130

磯谷：〔世田谷〕10号館2F教員コミュニティルーム

〔鶴川〕12号館3F302研究室0427-36-8125

1998年度 教員在室時間割 (保存版)

【凡例】 Na: 長島 Se: 瀬戸 No: 野口 Ha: 長谷川 Uc: 内田 Ok: 岡島 Is: 磯谷

===== : 講義中、 _____ : 在室、 : 在室していることが多い

前: 前期のみ 後: 後期のみ

	校舎	9:00-10:30	10:40-12:10	昼休	12:50-14:20	14:30-16:00	16:10-17:40	放下
月	世谷		No _____					
	鶴川	Se _____ Ha _____ Is _____			Ok _____		後 _____ 前 _____	
火	世谷		Na _____ Ha _____					
	鶴川	Uc Is _____		No _____				
水	世谷	Se _____ Is _____		Na Ha _____				
	鶴川		Ok Is _____					
木	世谷			No _____ Se _____ Ha _____ Uc Ok _____ Is _____				
	多摩					Is _____		
	鶴川		Na _____				Is _____	
金	世谷			No Ha _____				
	鶴川	Is Is _____						
土	世谷	Uc _____						

製本保存ぶん卒業論文主題(1997年度)一覧

- ・3月に行われた全国地理学科卒業論文発表大会では、横山美和子さんと大石秀行さんが発表しました。
- ・1986年以降に審査された卒論のなかから、優秀なものや資料的価値の高い論文は製本され公開されています。年度別、分野別に製本された卒論は図書資料室で閲覧できます。97年度ぶんでは、以下の論文が製本・保存されます。

番号	氏名	表題	所属ゼミ
4	稲見 悟志	亜高山帯の人工草地における凍結・融解作用で形成された小起伏地形―栃木県足尾山地を例に―	長谷川
7	酒井 陽介	大規模小売店舗進出による既存商店街への影響について―東京都府中市の事例	内田
8	中島 恵理子	訪日外国人による日本の観光地評価と観光行動について	内田
11	後藤 和美	東京都23区における高齢者福祉施設の分布と在宅サービスの地域較差について	瀬戸
12	福田 晶子	都市中心部における中高層集合住宅の立地過程と特性―埼玉県川口市を対象として―	瀬戸
14	中島 加奈子	神奈川県相模原市における先端技術産業の役割―NEC相模原事業場を中心として―	岡島
16	征矢 尚	都市農地を残すための一つの手段としての市民農園―東京都練馬区の3種類の農園を事例として―	長島
18	菊池 信宏	環境保全型農業の取り組みについての考察―群馬県新田郡新田町を事例として―	長島
24	中川 奈津江	付着藻類類をつかった都市河川の水質指標について―横浜市を例とした多変量解析による研究―	長谷川
25	塩沢 隆幸	密生した街路樹によるクールアイランド効果について―杉並区阿佐ヶ谷・高円寺を例として―	野口
33	大塚 茂	生産緑地法改正後の都市農業の変化―東京都昭島市を事例として―	長島
45	横山 美和子	幕末から明治初期にかけての横浜のイメージの変化―横浜浮世絵をテキストにして―	内田
48	土屋 真紀	中華人民共和国・三江平原における多時期LANDSAT/MSSデータによる土地被覆変化の抽出	長谷川
50	磯部 博宣	関東各都県のイメージ評価パターンとその構造について	内田
52	五十嵐繁樹	関東山地北部荒船山における岩塊流について	長谷川
54	涌井 重信	中山道本庄宿の構造と繁栄の要因―近世後期を中心として―	岡島
57	奥原 琢弥	丹沢山地東部におけるササ林の退行現象―空中写真画像解析と分光放射測定を例に―	長谷川
62	手塚 心	埼玉県草加市における米菓(煎餅)業―生産流通過程を中心に―	内田
67	仲村 暖	海洋が陸地上の気温に与える影響について―観測地点の海岸線までの距離を研究要素として―	野口
69	塙 英吾	千葉県銚子市における霧日数の永年変化とその要因について	野口
88	長竹 直樹	山梨県雨畑川・桃胡草里沢における土石流扇状地の発達過程	長谷川
708	大石 秀行	埼玉県外秩父山地大霧山斜面における夜間気温の特性とその発生頻度について	野口
711	下地 秀樹	沖縄におけるサトウキビの収量と気象との関係について：宮古(島尻マージ)地域を中心として	野口

地理情報処理室および図書資料室の利用について (重要：必ず読むこと)

1. 地理情報処理室および図書資料室は、原則として教員が在校中のみ開け、それ以外の時間は施錠されます。つまり、教員が大学に来ていないときには、中へ入れません。教員の在校時間については、このニューズレターの教員在室表に示したとおりで、世田谷に最低一人の教員が来ている時間帯は、これらの部屋に入れることとなります(ただし、2階に研究室のない教員(長島・内田・岡島)しかいない場合は、つねに鍵が開いているとは限りませんから、その場合は教員に告げて鍵を開けてもらう必要があります)。これ以外の時間帯でも、教員が学内にいれば鍵を開けてもらえます。教員を捜して下さい。
2. 情報処理室および図書室が個室になることによって、学校荒らし・空き巣常習者などに狙われやすくなります。盗難のおそれがあるので、図書室内または情報処理室内にモノを置いたまま外出しないようにして下さい。

研究室図書の見学および貸出方法

- ▼貸出は「図書貸出簿」に書名・住所・氏名など必要事項を記入の後、必ず在室教員のチェックを受け、サインをもらって下さい。
- ▼返却も「図書貸出簿」に返却日を記入し、必ず在室教員のチェックを受け、サインをもらって下さい。
- ▼貸し出し期限は2週間です。厳守して下さい。
- ▼研究室備品の地図・空中写真・製図道具等は、情報処理室内でのみ閲覧・利用して下さい。
- ▼利用する人は(教員も含めて)、見たり借りたりした本を必ずもとの位置に戻しておくようにして下さい。本の位置を変えないようにすることは、絶対に守らなくてはならないマナーです。
- ▼以上のきまりを守らず、無断で図書などを持ち出した者、貸し出し期限を守れない者には、相応の懲罰を課します。